

すばやいファーストステップ—心臓病学

WEB1000 5.1 により、ウェブをベースとした結果を病院ネットワーク内で分配できます。ウェブサーバーは検査ファイルを、Microsoft Internet Explorer または Netscape Navigator など標準的なウェブブラウザに分配します。WEB1000 を使用するには、サポートされたウェブブラウザおよびウェブサーバーがインストールされているネットワークへの接続が必要です。

使用目的

WEB1000 5.1 ソフトウェアとコンピュータのプラットフォームはシステムを構成し、訓練を受けており資格を取得した専門家による医療用画像の表示を使用目的としています。本システムは患者の画像と統計情報の組み立て、および構成、共有、表示による検査と照会だけを使用目的としています。WEB1000 アプレットは病院イントラネットの画像や離れた場所にあるインターネット上の画像を表示するために使用することができます。WEB1000 に保存されている画像は一時的なものです。これは、WEB1000 の用途がアーカイブ用のデバイスではないためです。

WEB1000 を外科手術のプランニングや実施手順のための支援用ツールとして使用するなど、その本来の使用目的以外の目的で使用した場合、そのような使用に関して明記されている警告をユーザーが認めた上での自由裁量とします。

-
1. ログインする
 2. ウェブサーバーで検査ファイルを検索する
 3. 検索ウィザードを作成して検索を自動化する
 4. 表示する検査ファイルを選択する
 5. 利用可能な検査ファイルを表示する
 6. MPEG 画像を再生する
 7. スタディスライダーを使用して検査ファイルをナビゲートする
 8. 選択された患者ごとに検査ファイルをナビゲートする
 9. 2つの検査ファイルで画像を比較する
 10. 利用できる検査ファイルのレポートを表示する
 11. レポートと画像を並べて表示するには
 12. WEB1000 をログアウトする

アーティクル ID: 003864

適用対象: WEB1000 5.1

© 2005 Agfa Inc. 著作権所有

WEB1000 にログインする

各ユーザーには固有のユーザー ID とパスワードがあります。これはシステムのセキュリティおよび患者情報の機密性にとって重要です。ログインによって次のアイテムが保存されます。

- システムを使用中に変更されたすべてのユーザーの選択した設定
- 利用できるツール
- 作成した検索ウィザード

システム管理者はあなたにログインにおける権限と、どの機能を使用できるかを決定します。

WEB1000 にログインするには

1. [アドレス] (Internet Explorer) または [ロケーション] (Netscape) フィールドで、[URL] または [IP アドレス] を入力します。
2. [Enter] を押します。
3. デジタル認証を求められた場合、[常時] をクリックします。

次にログインした場合、メッセージは表示されません。WEB1000 により使用される Java アプレットはデジタル認証で署名され、印刷などコンピュータの特定の機能にアクセスすることができます。認証により、アプレットが信頼されているソースから取得され、いかなる違法操作も実行しないことが確認されます。

4. [OK] をクリックします。
5. [ユーザー ID] フィールドで、**ユーザー ID**を入力します。
6. [パスワード] フィールドで**パスワード**を入力します。

システム管理者が WEB1000 を構成する方法に応じて、パスワードは特定の日後に期限切れとなる可能性があります。パスワードが期限切れとなる前に残っている日数を知らせる警告のダイアログが表示されます。パスワードを変更するには、[パスワードを変更する]を参照してください。

7. [ログイン] をクリックするか、[Enter] を押します。

パスワードが不正確な場合、エラーメッセージが送られます。ユーザー ID とパスワードを再度入力します。なお問題が残る場合には、システム管理者に連絡してください。

8. システム管理者が構成した場合、[ログイン履歴] ダイアログが開いて、最後にログインに成功したときの日付や時間、装置の名称、さらにそれ以来成功しなかったログインなどの詳細な情報を知らせます。[OK] をクリックします。

ログイン情報によって、誰か他人があなたのユーザー ID ならびにパスワードを使用していたか、もしくは使用しようとしたことが分かった場合には、システム管理者に連絡してください。


ログインが正確な場合、WEB1000 がロードして [スタディ] ページが開きます。



注意: パスワードの選択では大文字と小文字を区別します。ABCD は Abcd または abcd とは同じではありません。

ウェブサーバーで検査ファイルを検索する

検査ファイルの画像やレポートの表示を可能にするには、検査ファイルの位置を定めるために使用する検索パラメータを定義する必要があります。検索パラメータの設定およびこれらパラメータのデータベースへの転送は、またクエリーとも呼ばれています。検索では、1つまたはそれ以上の検索条件を利用します。検査ファイルを検索する場合、最高6つの異なった検索条件と最高6つの異なった検索制約条件を選択することが可能です。

 **使用のヒント:** ワイルドカードは検索における未知の情報を意味しています。例えば、アスタリスク (*) は任意の数の文字を代替し、疑問符 (?) は1文字を代替します。スペルのつづり方に確信がなかったり、もしくは単語や数の一部だけを覚えている場合にワイルドカードを使用してください。

検索条件の中には、異なったモダリティのタイプなど、制約条件のリストから選択するものもあります。こうした条件については、与えられたドロップダウンリストから選択を行ってください。患者名や患者 ID、登録番号などのその他の検索条件は検査ファイルに特有なものです。これらの制約条件を入力する必要があります。完全な患者名が分からない場合にはワイルドカードを入力できます。ただし、完全な患者 ID または登録番号を指定しなければなりません。

ウェブサーバーを検索するには

1. [検索の制約条件] ドロップダウンリスト ([ロケーション検索条件] の下にあります) から **[ロケーション]** を選択します。
各検索において [ロケーション] を条件として選択しなければなりません。検索ごとに使用できる [ロケーション] は1回だけです。デフォルトでは最初の [検索条件] フィールドとなります。





The image shows two dropdown menus. The first menu is labeled 'Location' and has a downward arrow. The second menu is labeled 'Web cache' and also has a downward arrow.

2. 検索の必要に応じて、ドロップダウンリストからその他の検索条件を選択します。
検索条件のリストならびにそのディスクリプションについては、[検索条件] を参照してください。日付条件は検索ごとに一回しか使用できません (さもなければエラーメッセージが表示されます)。しかしその他の条件は一回以上使用できます。例えば、CT と CR の双方を検索するために、[モダリティ] を2回使用することができます。




The image shows two dropdown menus side-by-side. The first menu is labeled 'Date' and has a downward arrow. Below it is another dropdown menu labeled 'Any date' with a downward arrow. The second menu is labeled 'Search Criterion 2' and has a downward arrow.

3. 選択された条件に対応した検索制約条件を選択します。
4. 一致する検査ファイルを検索するために **[スタディの検索]** をクリックします。 
指定されたすべてのパラメータに一致する検査ファイルだけが表示されます。

 **注意:** サーバーの日付および時間は [日付] の検索制約条件 が使用される場合に使用されます。


デフォルトの条件値をリセットするには

1. **[検索条件のリセット]** をクリックします。 
セッションで WEB1000 を最初に開くと、条件がリセットされます。

検索ウィザードを作成して検索を自動化する

検索条件と制約条件を選択したあとで、[ウィザード] ツールを使用してその設定を保存します。オプションとして、プログラムが起動したときにウィザードがリストされるよう選ぶことも、検索が終了した後で即座に [ディスプレイ] ページが表示されるように設定することもできます。

検索ウィザードを作成するには

1. [スタディ] ページで、ドロップダウンリストから検索条件を選択します。
検索キーと制約条件の詳細については、[検索条件] を参照してください。
2. 選択した条件に基づいて、検索の制約条件を選択します。
3. **[新しいウィザード]** をクリックします。 
[新しいウィザード] ダイアログが開きます。
4. **[ウィザード名]** ボックスにウィザードの名称を入力します。
5. 必要なオプションをチェックします。
 - **[スタートアップウィザード]** は WEB1000 が起動するとウィザードを開始します。
 - **[スタディが検索条件に合致したときは画像を表示]** は検査ファイルが見つかると自動的に画像を表示します。
6. **[OK]** をクリックします。
メインのツールバーの下に、指定した名前をもつボタンとして新しいウィザードが表示されます。

アーティクル ID: 001518


適用対象: WEB1000 5.1

© 2005 Agfa Inc. 版權所有

表示する検査ファイルを選択する

検査ファイルを提出すると、WEB1000 が使用可能な検査ファイルをすべて検索して、条件に一致する検査ファイルだけを[ディスプレイ] リストにリストアップします。画像またはレポートを表示可能にするには、表示する検査ファイル (もしくは複数の検査ファイル) を選択する必要があります。

検索の結果は、画面で表示される前に患者データによって並べ替えられます。[ディスプレイ] リストで、コラムの見出しをクリックして、そのコラム情報に従って検索結果を並び替えます。同一患者の複数の検査ファイルは、患者の最初の検査ファイルの上に表示されるフォルダにまとめてグループ化されます。デフォルトでは、フォルダは折りたたまれています。

 **注意:** フォルダのアイコンは検査ファイル自体ではありません。アイコンは同一患者に属する検査ファイルのコンテナです。フォルダを選択して操作を実行する場合 (画像を表示するなど)、フォルダ内の検査ファイルはすべて選択されます。フォルダ内の検査ファイルを選択した場合、その検査ファイルだけが選択されます。

1つまたはそれ以上の表示したい検査ファイルを選択するには

- 検査ファイルを 1つ選択するには、その検査ファイルをクリックします。
- 非連続的な位置にある複数の検査ファイルを選択するには、[Ctrl] キーを押して検査ファイルをクリックします。
- 連続的な位置にある複数の検査ファイルを選択するには、[Shift] キーを押して最初と最後の位置の検査ファイルをクリックします。
- 患者の検査ファイルをすべて選択するには、患者名の隣にあるフォルダアイコンをクリックします。

選択された検査ファイルは、暗いバックグラウンドと明るいテキストでハイライトされて表示されます。

患者の検査ファイルをすべて表示するには

- フォルダを拡大して患者の検査ファイルをすべて表示するには、フォルダの隣のプラス (+) 記号をクリックして開きます。
- フォルダを折りたたんで患者名と ID だけを表示するには、フォルダの隣のマイナス (-) 記号をクリックして閉じます。

検査ファイルを並び替えるには

- 検査ファイルを並び替えるには、適切なコラムの見出しをクリックします。例えば、[モダリティ] コラムをクリックした場合、モダリティごとに並べ替えられます。
- 逆の順序で並び替えるには、同じコラムの見出しをもう一度クリックします。

利用可能な検査ファイルを表示する

1つもしくはそれ以上の検査ファイルを選択した後、各検査ファイルで利用可能な画像を表示できます。

利用可能な検査ファイルを表示するには

1. [ディスプレイ] リストから検査ファイルを選択します。
さらに詳細については、[検査ファイルを選択する] を参照してください。
2. [ディスプレイ] ボタンの1つをクリックします。

ショートカットメニューを使用して検査ファイルを表示するには

1. [ディスプレイ] リストで検査ファイルを右クリックします。
マッキントッシュをご使用の場合には、[COMMAND] を押して検査ファイルをクリックします。
2. ショートカットメニューから [画像を表示] を選択します。
[ディスプレイ] ページに画像が表示されます。

アーティクル ID: 001602

適用対象: WEB1000 5.1

© 2005 Agfa Inc. 著作権所有







MPEG 画像を再生する

MPEG プレイヤーにより、画像を連続ループまたは静止フォーマットで再生して、ムービーを作成することができます。心臓専門医にとって、X線アンギオグラフィー(XA, X-ray Angiography)、および超音波(US, Ultrasound)、核医学(NM, Nuclear Medicine)のモダリティは身体の血流を追跡記録するために役に立ちます。

 **注意:** MPEG プレイヤーは MAC OS ではサポートされていません。

MPEG 画像を再生するには

1. [スタディ] ページで検査ファイルを見つけます。
2. 画像のアイコンをクリックします。
3. 表示ツールを使用して画像を表示します。

オプション	アイコン	ディスクリプション
分割画面		分割画面モードで表示します。
再生		MPEG ムービーを再生します。
停止		画像の運動を停止します。
全画面表示		全画面モードで画像を表示します。このツールが機能するのは MPEG ムービーが再生中のときだけです。MPEG ムービーの停止時には全画面を表示できません。通常の表示に戻るには、[Esc] を押します。
前の/次のフレーム		MPEG をフレームごとにスクロールします。静止フォーマットで使用します。
フレームレート		フレーム速度を選択してください。ダイナミックフォーマットで使用します。



 **注意:** MPEG プレイヤーは実施許諾を受けたツールで、心臓専門医が使用します。

スタディスライダーを使用して検査ファイルをナビゲートする

[ディスプレイ] リストで複数の検査ファイルが選択されている場合、スタディスライダーを使用してナビゲートできます。スライダーの右側に検査ファイルの数が表示され、現在の表示している検査ファイルがポジションスライダーに指示されます。スライダーが移動するにつれて、WEB1000 は新しい検査ファイルからのページを表示します。



[ディスプレイ] ページで検査ファイルごとにナビゲートするには

- 検査ファイルを1つ前に進むには、右の矢印をクリックします。 
- 検査ファイルを1つ戻すには、左の矢印をクリックします。 
- 特定の検査ファイルの位置までスクロールバーを移動するには、ポジションスライダーをクリックしてドラッグします。

アーティクル ID: 001543

適用対象: WEB1000 5.1

© 2005 Agfa Inc. 版權所有

選択された患者ごとに検査ファイルをナビゲートする

[ディスプレイ] リストで複数の検査ファイルが選択された場合、[スタディ情報] リストを使用してナビゲートできます。

[ディスプレイ] ページで患者ごとに検査ファイルをナビゲートするには

1. [スタディスライダ] の上にある患者名のそばのドロップダウン矢印をクリックします。



患者名のリストは、モダリティ、検査日、および検査時間などの追加の患者情報と一緒に現れます。

2. 特定の患者の検査ファイルを移動するには、リストで患者名をクリックします。

アーティクル ID: 001544

適用対象: WEB1000 5.1

© 2005 Agfa Inc. 著作権所有

2つの検査ファイルで画像を比較する

分割画面モードを使用して、2つの検査ファイルを並べて比較します。[ディスプレイ] ウィンドウは2つの表示エリアに分割されます。画面の各半分にはそれぞれツールバーがあり、画像を独立に操作できます。

さらに画像とレポートを並べて表示することもできます。

2つの検査ファイルで画像を比較する

1. [画面の分割] をクリックします。



[ディスプレイ] ウィンドウは2つの表示エリアに分割されます。


2. 左のペインのスタディスライダーを使用して、患者を選択します。
3. 右のペインのスタディスライダーを使用して、次の患者を選択します。
4. 2つの画像を操作するには、各ペインにあるツールを使用します。

シングル画面モードに戻るには

[画面の分割] をもう一度クリックします。



WEB1000 は、画面の左半分に表示される患者の検査ファイルをデフォルト 値として採用します。

 **注意:** 分割画面モードを使用する場合、「分割画面モードで検査ファイルを表示する場合に、複数の患者を表示するための十分な権限がありません。」というメッセージが表示される可能性があります。この機能が必要な場合には、システム管理者に相談してください。

アーティクル ID: 001547

適用対象: WEB1000 5.1


© 2005 Agfa Inc. 著作権所有

利用できる検査ファイルのレポートを表示する


検査ファイルのためのレポートが使用可能な場合、[レポート] ページでレポートを表示できます。各レポートには3つのセクションがあります。すなわち、患者情報、およびレポート情報、検査ファイル情報を表示できます。

利用可能なレポートを表示するには

1. [検査ステータス] コラムにあるレポート アイコンの付いた検査ファイルを、[ディスプレイ] リストで見つけます。

アイコン	定義
	[予備スタディ] アイコン、予備テキスト付きです。
	[承認済みのスタディ] アイコン、承認済みのテキスト付きです。

2. こうしたアイコンの付いた、1つまたはそれ以上の検査ファイルを選択します。

3. [レポート] ページを選択するか、[レポートの検索] をクリックします。 

4. スタディ スクロールバーを使用して、レポートをナビゲートします。

5. [フォントサイズ] ボタンの1つをクリックして、フォントのサイズを変えます。

利用できるフォントサイズは3つです。大 (24 ポイント) 、中 (18 ポイント) 、小 (12 ポイント)  の3つのフォントがあります。デフォルトでは、レポートは 12 pt フォントで表示されます。

6. [ディスプレイ] リストから複数の検査ファイルを選択した場合、スタディスライダーを使用してレポートをブラウズできます。

アーティクル ID: 001554




適用対象: WEB1000 5.1

© 2005 Agfa Inc. 著作権所有


レポートと画像を並べて表示するには

検査ファイルでレポートが使用できる場合、画像および関連したレポートを分割画面モードで並べて表示できます。

レポートと画像を並べて表示するには

1. [スタディ] ページで、利用できるレポートをもつ検査ファイルを選択します。
2. [1x1 フォーマット] をクリックします。 
[ディスプレイ] ページに画像が表示されます。
3. [レポートを検索] をクリックします。 
4. [画面の分割] をクリックします。 
レポートと画像が並んで表示されます。
5. スクロールを使用して、レポートの異なったセクションに関する情報をすべて見ることができます。すなわち、患者情報、およびレポート情報、検査ファイル情報を表示できます。

シングル画面モードに戻るには

[画面の分割] をクリックします。 


アーティクル ID: 001556

適用対象: WEB1000 5.1

© 2005 Agfa Inc. 版權所有

WEB1000のログアウト

セッションを終了した後、またはコンピュータを操作せずに放置する場合、ウェブブラウザのアプリケーションを閉じる前にログアウトする必要があります。ログアウトする前にウェブブラウザを閉じた場合、ユーザーの設定に行われた最新の変更はすべて保存されません。ログアウトによってシステムのセキュリティを保護できます。これによってまた、不当なユーザーがあなたのユーザー ID ならびにパスワードを使用して作業するのを防ぎます。

 **注意:** ある一定の時間に作業を行わないユーザーを自動的にログアウトするように、システム管理者が WEB1000 を設定している場合があります。この機能が有効になっている場合には、WEB1000 で特定の時間内に何の操作も行わなかった場合、ログアウトされます。これが生じた場合には、再度ログインして再接続します。

WEB1000 をログアウトするには

[スタディ] ページで [終了] をクリックします。



アーティクル ID: 001514

適用対象: WEB1000 5.1

© 2005 Agfa Inc. 著作権所有

著作権

WEB1000 製品は Agfa Inc. の商標です。

ここで言及されている製品名および会社名はすべて、各会社の登録商標または商標と見なす必要があります。

© 2005 Agfa Inc. 著作権所有。

知識ベースの情報は通知されることなく変更される場合があります。

2005-05-30

製造業者の責任

製造業者、または設置者、輸入業者が機器の安全性や信頼性、性能に対して責任を有するのは、次に示す場合だけです。

- 適切な資格を有するサービスマンによってインストール、または修正、調整、変更、修繕が実施されていること。
 - 装置が使用されている現地での電氣的設備が、適切な安全標準 (UL、CSA、または IEC/CDE) に従って使用されていること。
 - インストールガイドおよび知識ベースで提供されている使用方法に従って装置が使用されていること。
 - このパッケージで配布されているソフトウェア、または が認可したソフトウェア以外のソフトウェアを WEB1000 のサーバーまたはパソコンにインストールしないこと。
-